



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

第2570地区ガバナー 高丹秀篤

第3グループガバナー補佐 齋藤栄作

希望を語ろう We are Rotary, together

第3080例会 2023. 8. 30

—— 会員増強推進月間 ——

天候 晴 (NO. 60-09)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 永安寺君、藤原君

例会場: ホテル・ヘリテイズ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

【ガバナー公式訪問】飯能・日高合同例会

ホテル・ヘリテイズ飯能sta.

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・ビジター国際ロータリー第2570地区
2023-24年度ガバナー
高丹秀篤様(深谷RC)
第3グループガバナー補佐
齋藤栄作様(入間RC)
(深谷RC)
水内 寛パスト会長
田中 明パスト会長
寺田恭典会長
- ・記念卓話 高丹秀篤様



【会長報告】

◎馬場会長 高丹ガバナーをお迎えしての合同例会、よろしくお願ひ致します。先程は、11階で和気藹々とした懇談会が出来ました。深谷と言えば渋沢栄一。来年は一万円札が渋沢さんになります。飯能も関わりのある土地で、渋沢夫人の弟、渋沢平九郎が「飯能戦争」で新政府軍と戦っています。半日程で撤退となり、敗走中に平九郎は吾野の顔振(かあぶり)峠の茶屋に寄ります。そこで「決して黒山の方には行ってはいけません。秩父にお逃げなさい」とおかみに言われ、太刀を預けて農民に変装するのですが、何故か秩父ではなく黒山に下りてしまいます。そこで新政府軍との闘いとなり、黒山の地で自刃。22歳。

越生町は大河ドラマ『青天を衝け』でもものすごく盛り上がっていました。峠には「平九郎茶屋」が今もございます。深谷と飯能ということでお話させて頂きました。

◎清水会長(日高) 飯能・日高合同のガバナー公式訪問にあたり馬場会長、神田幹事、川口SAAに細かいところまで打ち合わせをして頂き感謝しております。どうぞよろしくお願い致します。

【幹事報告】

◎神田幹事 写真撮影の際、歴代会長は係の指示に従って下さい。次週は18時点鐘です。

◎町田副幹事(日高) 高丹ガバナー、先程



・ 10 / 24・31 (火) 28 (土) 29 (日)
「入間万燈まつり」参加に振替

【委員会報告】

◎前年度幹事 市川君
「年度報告書」を配付。ご確認ください。

【出席報告】MU・無届欠席0 山口出席向上委員

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出席数	出席率
65名	4名	56名	86.15%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・ 本日の飯能・日高合同ガバナー公式訪問会に3名でMU参加させていただきます。よろしくお祈いします。

(深谷RC)水内寛様、田中明様、寺田恭典様

・ 高丹ガバナー、齋藤ガバナー補佐、深谷RCの皆様よろこそ飯能へ。本日はよろしくお祈いします。 藤原君、大木君、小川君 馬場会長、中里(忠)副会長、森会長エレクト 神田幹事、川口SAA

・ 高丹ガバナー、齋藤ガバナー補佐、本日はよろしくお祈い致します。

(日高RC) 清水佳代子会長、引間豊副会長 和田貴弘幹事、谷野秀之SAA 町田秀雄副幹事

本日計 27,000 円、累計額 146,501 円。

◎ 6 日例会当番は福島、細田(伴)会員です。

の懇談会では大変参考になるお話を有難うございました。9/5理事会を開催します。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・ 9 / 20 (火) 定款により取止め
- ・ 10 / 3 (火) ガバナー補佐訪問
- ・ 10 / 17 (火) 定款により取止め
- ・ 10 / 24 (火) ガバナー公式訪問 所沢市5クラブ合同例会
- ・ 10 / 31 (火) 定款により取止め

◇入間南RC

- ・ 9 / 26 (火) 月見家族例会 東京湾屋形船
- ・ 10 / 10 (火) 例会取止め(定款8-1-C)
- ・ 10 / 17 (火) 19(木)入間RCとの合同例会に振替



入会3年未満の会員との懇談会



【記念卓話】

講師紹介

馬場会長

ガバナー公式訪問例会 記念卓話

国際ロータリー 第2570地区 2023-24年度 ガバナー

高丹秀篤様 (深谷RC)

ゴージャスな会場を設定して頂き有難うございます。お話がありましたように、飯能、日高と深谷は近い関係にあるんだなということです。渋沢平九郎は非常に人気者で、その平九郎がこの地で最期を迎えたということは“記念すべき地”なのだと思います。

来年3/16・17は地区大会を予定しております。今年は残念ながら帝国ホテルではありません。深谷。山の向こうです。渋沢栄一の新札が春の終わり頃に出るとの話ですので、皆様にはひと足先に“新札の束”をご用意しておこうかなと思っておりますので、ご来場お願い申し上げます。ちなみに深谷から来た寺田さんは今の会長で、水内さんはパスト会長。田中パスト会長には地区大会を仕切って頂きます。“記念すべき地”でお話できるのは非常に光栄でございます。

まず私の紹介も兼ね映像を見て頂きます。熊谷高校山岳部の出身で、夏にはよく南アルプスの縦走を兼ねて10日間位、山ごもり生活をしておりました。

これが南アルプスの「仙丈ヶ岳」。ここにいきますとちっぽけな気持ちはすっ飛んでしまいます。幸福を呼ぶライチョウが生息しており、北アルプスの、尖った、見て美しいところはまた違った雄大な姿で、RIを山の形

にしたらこういう形になるのではないかと思います。何故ならば寛容の精神を一つの旨としておりますから。南アルプスの空気を吸って、そういうことを身に着けようと思った次第です。

これは、渋沢栄一と、背景は深谷駅舎。東京駅の駅舎も深谷のレンガ工場から運ばれて造られたそうです。

マッキナリーRI会長が“CREATE HOPE in the WORLD”ということを掲げました。「希望を創り出そう」「希望を生み出そう」世界中に、ということですね。1月、フロリダでガバナーエレクトの研修を受けて参りましたが、そこでもRI会長は何度も言われていました。彼はスコットランド出身ですからヨーロッパ人です。欧州人にとって今何が一番の心配事かと言うと、ウクライナを含めた、あちこちからの難民の問題です。欧州は世界の歪みを受けています。そういう意味で“HOPE”を常に持ち続け、生み出していきましょうということを盛んに言われました。

それを受けて私は「希望を語ろう」もっと言えば「ロータリーを語りましょう」です。何故なら“*We are Rotarian*”ですから。“*We are Rotary, together*”一緒になって我々の希望を語っていきましょうよということをおはテーマにさせて頂きました。

そうしましたら馬場会長のテーマも「希望を繋ごう」です。皆さん「希望」で繋がっているのですね。そういうふうになれたらいいなというふうに思います。

ただRCというのは希望を語ったり希望で繋がったりしているだけじゃダメなんです。と、私は思います。自分で言いながらそんなことを言うのはおかしいのですけれども、やはり行動人でないといけません。語って、そして我々の仲間を増やして一緒に行動していく。それが世界の平和に繋がるんだというのがRI会長の考え方です。私も同感であります。そういうことで、アクションプランとして、我々RCは一つのことに向かって実際に行動を起こそう、行動する集団でありましょうということは、常に頭に置いておかなければいけないことだと思います。

各クラブのリーダーの皆さんにお願いしていることがあります。今日でちょうど14か所目の公式訪問ですが、まず「継続性」です。ご存じの通りRCというのは1年制です。RIの運営もそうです。そういう意味で一昨年のジョーンズRI会長の言われたことをマッキナリーRI会長も継続していくと言われております。ただし継続しながら「変革」していかなければならない。「変革」していかなければ組織はマンネリ化し、活性化できません。必要に応じて「脱皮」していかなければ

ればいけない。そう強く言われています。そして会員が積極的に参加するようなクラブ運営を常にクラブリーダーは考えて下さい、ということでもあります。

地区が一番しなければいけないのは「学びの場をつくること」だと思います。今まではクラブ研修リーダー、地区研修リーダーを中心にセミナーや新会員研修をすることが主でしたが、「研修 (Training)」という言葉は今、使わなくなり、「ラーニング (Learning) : 自ら学ぶ、探し出す、能動的に学びを取りに行く」ということが言われます。ラーニングのための学びの場をどのように提供できるのか。「研修リーダー」が「ラーニング・ファシリテーター(LF)」に変わりますが、それよりも皆さんの前にあるのは「My ROTARY」です。このシステムを開発したRIはすごい組織だと思います。140万人会員が勉強できるようなしくみを作ったわけですから。ここに入って頂ければその先はいろんな情報がたくさんあります。中を是非覗いてみて下さい。すでに活用されていると思いますが、まだの方が居られたら是非覗いてみて下さい。「My ROTARY」登録率7割以上の環境づくりをして頂きたいと思います。必要なのは私達がサポートします。

米山梅吉翁が常に言われていたのは「RCというのは人間が鍛えられる道場だ」ということです。3年未満の会員から今日質問を受けました。「RCに費やす時間と自分の事業に費やす時間のバランスはどうしたら良いのか」と。自分の事業をしっかりとやるためにRCで学ぶわけですが、ただ、RCで学んだことと自分の事業から学ぶこと、チャレンジすることというのは折角ですからクロスして(近づけて)、その中でうまく社員の教育、他業界との付き合いを含め、人間として成長したら事業もうまくいくのではないのでしょうか。そう私は確信しております。その意味で、「学びの場をつくること」、RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)の教育の場も皆さんにたくさんご案内していきたい。3年未満の方用のビデオも作っております。

私のお願いなのですが、クラブ会長はクラブをリードしていくために、自分自身をどんどん前を出して下さい。そして自分の苦労話ですとか、自信がもてるような話、自慢話でも結構ですので、自分なりにストーリー化して皆さんにお伝えしたらどうでしょうか。そのように提案をさせて頂いております。

「第2570地区」は今までちょっと停滞しておりました。地区の機能がしばらくお休みしていたと私は思っています。そこで皆さんの力を借りて、この2570地区を再び盛り上げていかなければいけないとの思いで、3つの

推進チームを作りました。

1つは「DEI推進チーム」。多様性・公平性・包摂性。飯能と日高、2つの異なるクラブがこうやっていつも顔を合わせて一緒に行動できるということはInclusionの世界ですよね。そういう意味で、誰とも楽しく接して自分達の居場所がある。出て行って何年か一緒に活動したならば、何らかのかたちで自分の中に「新しいRCに入った」という感じが得られる、というのが重要なことなのではないかと思えます。

それから「地区DX推進コミティ」を創りました。「ガバナー月信」はHPでの閲覧、または、LINE登録で9月号は9/1に配信されるようになっていました。今、印刷費、配送費がすごく高くなっています。スマホにすぐに発信できる情報を用意して態勢をとっておりますので、詳しい方に聞いて頂き、是非活用して頂きたい。

そして「甦れ2570プロジェクト」。これは停滞気味なこの地区を皆さんと盛り上げていこうということです。先週の日・月曜日には富士登山を地区で実施し、25名の参加者を得ました。その前の週は3年未満の会員に集まって頂いて、ロータリー・ワークショップということで2時間程、チームに分かれて、それぞれ言いたいことを言って、「RC、本当にこれから続けていく価値があるの?」というようなことも含めて討論して頂きました。その後、皆さんから発表して頂いたのですが、新しく入った方々はRCに対してフレッシュな感覚をお持ちですので、私も非常に参考にさせて頂いた内容でありました。このプロジェクトではこれからもいろんなイベントを考えています。大相撲一月場所は蔵前国技館の升席を50席位確保してあります。相撲に興味のある同士で語り合えたらなと思っています。第2570地区を皆さんで盛り上げていきたいなと思っておりますので是非よろしくご協力の程お願い申し上げます。

最後にマッキナリーRI会長のメッセージをご紹介します。

平素より大変お世話になっています。RCは新しい深刻な課題に直面する中でも会員と世界の人々への思いやりを示し、末長い平和を築くために尽力しています。また、会員の帰属意識を高め、あらゆる面でInclusionを推進しています。私がRCで皆様に「世界に希望を生み出そう」と呼び掛けているのはこのためです。

これを卓話の最後の言葉として皆さんに贈らせて頂いて、私の話を終わりたいと思います。今日はご清聴有難うございました。

・閉会点鐘 清水会長(日高)